

発行日：2013年4月1日

## 知的障害者グループホーム「沙羅の家 大岡山」の開設に向けて

目黒区健康福祉部長 森 廣武



もえぎの会の皆様、こんにちは。皆様には、日ごろから目黒区の障害福祉行政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

また、沼野後援会長をはじめとする後援会の皆様の力強いサポートも、大変頼もしく感じているところでございます。

さて、この4月から、障害者総合支援法が施行されます。この法律には、障害者基本法を踏まえた基本理念が条文に明記されておりますが、いずれも大切な理念だと思います。その中で私が特に注目しているのは、「どこで誰と生活するかについての選択の機会が確保され、地域社会において他の人々と共生することを妨げられないこと」です。

区は、これまでも障害をもつ人が、生まれ育ったこの目黒の地で、地域社会と共生しながら自立した生活を続けていくために、障害者計画に基づきグループホームの整備を進めてまいりました。現在、区内に11箇所(知的9、精神2)のグループホームがありますが、そのうちの2箇所は、もえぎの会の皆様が整備・運営する「沙羅の家」と「沙羅の家 向原」です。

そして、このたび大岡山一丁目の区有地を活用したグループホームの整備・運営をもえぎの会に担っていただくことになりました。もえぎの会として3つ目のグループホームとなる「沙羅の家 大岡山」は、平成25年9月以降の開設に向けて、現在着々と準備が進められているところです。日中活動の場である「しいの実社」の各種事業運営をはじめ、生活の場であるグループホームの整備・運営は、知的障害をもつ方々が、地域で生き生きと自立した生活を営むことに大きく寄与するものであり、もえぎの会のご尽力に心から感謝申し上げますとともに、これからもますますのご発展を期待しております。



目黒川の桜

区といたしましても、障害福祉のサービス向上のため、様々な課題の解決に向けて、今後も引き続き取り組んでまいりますので、皆様のご理解、ご協力をお願いいたします。

### 2013年度 もえぎの会 事業報告会・懇親会のご案内

下記のように本年度の開催を予定しております。

7月13日(土) 目黒区総合庁舎 2階大会議室

改めて、ご案内をお送りいたします。ぜひ、お誘いあわせの上、ご出席していただきますようお願い申し上げます。



昨年の様子 音楽演奏

## しいの実社 2013年度事業計画

年ごとに、極端に寒い日、暑い日が増え、穏やかな春や秋が少なくなっているように感じます。今年も、春の訪れが遅く感じましたが、3月に入り、春一番が吹き、季節は日々動いています。同じように、しいの実社や利用者さんも日々動き、変化し、そのエネルギーが活力となっています。

しいの実社もより安定し、成長したいと考えています。そのために、安定した組織運営体制、スタッフ間や事業所間の情報共有・課題共有、支援力の均一化・レベルアップなどの課題に取り組んでいます。さらに、利用者・家族との信頼関係の強化、長期的な視野に立った支援を実施したいと決意しています。

## 重点課題

3事業の運営となるが、基本的に仕事を中心とする支援を継続していきます。そのような中でも、利用者の高齢化や仕事や製品の変化にも対応する必要があります。高齢利用者に配慮したプログラム、生活や健康維持のためのプログラムを企画し、実施します。

## 就労継続支援B型事業

- 支援と生産のバランスを取る
- 利用者の特性・能力に合わせた仕事の見直し
- 継続した工賃の向上
- 高齢者の支援

## 生活介護事業

- 利用者の安定した生活のための支援
- 社員の特性に合わせた仕事の提供
- 体力の向上、生活の幅を広げる活動

## 就労移行支援事業

- 就労に向けた基礎知識の習得
- 生産維持と社会参加機会提供の両立
- 一般就労の実績

さらに、年間行事として社員旅行、しいの実祭、11施設交流会をはじめ、土曜開所による余暇活動などを実施します。また、利用者は年を重ねますので、健康診断、健康相談や体操など健康管理に配慮します。

地域に根ざした活動を継続し、学校の職場体験、見学やインタビュー、資格取得のための職場実習、商店街や町会のイベントへの積極的な参加などに対応します。利用者・家族が、安心して、地域や行政にも理解され、充実した生活が送れるように取り組みます。

## 雪かき - 思わぬ大雪、思わぬ体験 -

年明けの1月14日(月・祝)は成人式でしたが、東京は久しぶりの大雪でした。その影響で、15日(火)はたくさんの雪が残る中での通勤となりました。

通勤ルートの安全確保と地域への恩返しを兼ねて、朝からお昼にかけてしいの実社前の通りと学芸大学店前の雪かきをしました。慣れない仕事で、重労働でしたが、地域の人と会話を交わしたり、「ありがとう」と感謝の言葉を頂いたり、素敵な光景でした。参加した社員・スタッフの皆さん、お疲れ様でした。



### 第11回 しいの実祭 開催

昨年11月23日に第11回しいの実祭を開催いたしました。例年は11月の最終土曜日に開催していましたが、昨年は、3連休の真ん中となりましたので、初めて、金曜日の祝日の開催となり、いろいろ考える祭になりました。

前の年は、法人設立10周年という事で、「感謝」をテーマにしましたが、今回は、10年の節目を越え、新たな段階に踏み出しましたので、改めてしいの実社を知っていただくというコンセプトで企画しました。社員を知ってもらえるように社員の思いを貼りだし、来場された方がより社員と関われるために、社員とじゃんけんをしてスタンプを集める企画を実施しました。

あいにくの空模様で、雨対応に変更して実施しましたが、足元の悪い中にも関わらず、昨年を上回り1000人を超える方々にご来場いただき、盛況のうちに終える事が出来ました。

ご来場いただいた皆様・お手伝いいただいたボランティアの皆様、スペースをお貸しいただいた五十嵐電機様・白川電機様・大正鉄筋様・平研磨工業所様、販売に参加して下さった清水町会や他施設の皆様をはじめ、しいの実祭に関わっていただいたすべての皆様に御礼申し上げます。



しいの実 オープニング



大盛況のイベント



青木区長さんも御買い上げ



打ち上げ お疲れ様

### 就労支援プログラム

現在、スマイルプラザでは就労に向け、様々なプログラムを行なっています。日課として朝礼や日報記入などをしていますが、しっかりと定着し、作業へのメリハリが出てきました。

金曜日には一人一人の主体性を育て責任感を養えるよう、順番に外食を企画(自分でお店を選びます)・お知らせ作り・予約・当日の指示誘導など行ってもらっています。皆さん、自分の順番を心待ちにするとともに、その責任感を実感しているようです。

3月2日は、障がい者雇用を行なっている銀座の「スワンカフェ&ベーカリー」へ見学・食事に行きました。電車の乗り方や車内マナーを学ぶ良い機会となりました。また、カフェスタッフの方々の接客対応に感心をして帰ってきました。今後、

就労支援センターの方よりお話などしていただく予定です。これからも「外で働く」というイメージを持てるよう見学・実習などに取り組みたいと考えています。

多くの社員が、地域で働き、充実した人生を送ることができるよう支援するとともに、地域の皆様のご支援をお願いいたします。



スワンカフェ&ベーカリー前にて



食事会お知らせ作りをパソコンで作っています。ローマ字表を用いて一字一字探して打っています。

## リファーシステムジャパン株式会社

目黒区碑文谷2-7-11  
TEL 03-3791-1123  
<http://www.reefer.co.jp>



村田浩司専務

下目黒で約40年前に東西運輸が創業され、そのグループとして平成7年に設立されたワイン輸送のリファーシステムジャパン株式会社の碑文谷の本社で村田浩司専務にお話を伺いました。設立の経緯は、バブルがはじけた頃に、ブルゴーニュ、シャンパーニュ、ボルドー地方などで飲んだワインに驚かされ、どうしてこんなに美味しいのだろう？と思ったのが始まりでした。日本のワインは、赤道を2回通過し、温度管理されていないネームバリューだけだったので、ワイン輸送に特化してスタートしました。賛同する販売会社は200社以上、都内を中心に大阪、名古屋も翌日配送です。一定温度に保つリファーコンテナで海上輸送され、15度に維持されたセンターから専用定温車に積載され、シーンに合わせたグラスに注がれるまで最適な「15度」に保たれるのです。国内外の専門誌やソムリエから高い評価を得ている輸送技術は、「当社だけでしょ」とおっしゃる村田専務の自信と誇りが伺えます。

もえぎの会とのご縁は、下目黒からで、社会貢献は特別なことでなく気軽に協力させていただきました、とおっしゃるように、現在取り組んでいらっしゃるのが、NPO法人RE機構、日本コルクリサイクル協会への協力で、ホテルやレストランにも協力していただき、ワインのコルクを無償で回収されています。そのコルクは、障害者施設で洗浄・仕分けして、工場では教材スタンプ、コースターなどに加工し、販売するという事業で、しいの実社でも試験的に始まっています。販売ルートも開拓されていますので、しいの実社の店舗でデビューする日も近いかもしれません。コルクに生まれ変わったミッキーやミニーにTDSで会えるかもと夢は膨らんでいます。

碑文谷の本社



## アオバ-ジャパン インターナショナルスクール

目黒区青葉台2-11-5  
TEL 03-6904-3127  
<http://www.aobajapan.jp>

アオバ-ジャパン インターナショナルスクールは幼児から高校3年生までが楽しく学び、国際人を育てる学校です。代表取締役ドイツさんと取締役上村さんをお訪ねしたのは松濤キャンパスでした。2年前の大震災で、青葉台から移転を余儀なくされ、1歳半から6歳の子どもたち、50名が通っています。勉強できるためのスキルを身に付け、1年生からゆとりを持ってスタートができるようにしたい、とおっしゃいます。

昨年10月に杉並より光が丘キャンパスに年少から高校3年生までの一貫校が移転し、230名が学び、授業はすべて英語ですが、英語が充分でない場合、集中クラスで一般のクラスに入れるサポートがあります。また日本語も重要視され、文科省の教科書を使った授業もあります。

40カ国600名近くいた子どもたちも、リーマンショックや震災の影響で帰国し、今は23カ国で日本人が4割を占め、アジア、中東、イスラム、南米、ロシア、スウェーデン、ノルウェーなど英語圏外の方も多く、韓国の方も増えてきているそうです。「国際人を育てることが目標ですが、英語を覚えるだけでなく、様々な国を理解するのが真の国際人です」とおっしゃるドイツさんです。

日本も良くなる兆しが見えますねと話されるお二人から嬉しいニュースを伺いました。1976年にスタートされた、まさしく「アオバ」である青葉台に、この4月1日に戻られます。学校、保護者の皆様も大変喜ばれ、西郷山のグリーンカフェで再びティータイムを過ごせるのも楽しみの一つだそうです。

もえぎの会との出会いは、その青葉台でのスプリングカーニバルへの出店でした。これからも、またご縁が続きますよう、よろしくお願いいたします。



ドイツさん、上村さん、園長先生



青葉台の新キャンパス

M(メンテナンス)、M(マネージメント)、C(クリンリネス)という経営三本柱をモットーに創業20年を迎えられるエムエムシービルステーション株式会社の、「ビルのすべてを長期に渡り面倒見させていただきます。」とおっしゃる早瀬社長は、二代目です。思わぬ雪に見舞われたこの冬は、いち早く点検に駆けつけ、建物を利用する側にはありがたい敏速な対応です。管理する50以上のビルでは、毎日ハプニングがあるそうで、経験やノウハウを生かし修理します。

「建物は、不思議ですが、例えば水回りのトラブルが起きるとそれが続いたり、電気系統が続いたり、人のように何か訴えています」と、子どもを気にかけるお父さんのような眼差しです。多岐にわたる技術が求められ、社長自らデスクワークより、現場のエキスパートで飛び回っていらっしゃいます。「きれいで、トラブルがなくて当たり前ですが、そこで感謝を言われると、とても嬉しい気持ちになります」とおっしゃいます。利用者の方とも、顔なじみになり、信頼関係も生まれるそうです。社員が6名とパート、清掃担当の方が20名くらいのスタッフで、40代の男性中心ですが、これからは若手の育成にも力を入れたいとおっしゃいます。

弁舌爽やかな故関谷前社長に比べ、お話する時は内心ドキドキで...とおっしゃる早瀬社長は休日のご趣味も多岐に渡っています。「ひつまぶし」に衝撃を受け、名古屋の食文化に深く心酔されていていらっしゃるとか。日本フィルハーモニーのファンで、コンサートや楽員の方のリサイタルにも足繁く通っていらっしゃるとか。前社長もクラシックファンで、蘊蓄やお薦めなどを語り合い、世界が広がりましたと偲ばれていました。

ベートーベンの9番、チャイコフスキーの5番、サンサーンスの3番がご自分の三大元気の源とおっしゃる早瀬社長。その明るさとバイタリティでこれからもご活躍ください。



早瀬信行社長

三田の本社



## 新規後援会員をご紹介ください

年会費 1口1,000円 個人会員 1口以上、 法人会員 10口以上

会費はお手数ですが、直接お持ち頂くか、下記口座へお振込みください。

郵便振込口座 00130-5-667751

口座名義 もえぎの会後援会

問い合わせ先 もえぎの会後援会事務局(電話:03-5724-7153)

## 安定運営に向けて

世話人 長谷茂雄

沙羅の家は、大きな変化なく入居1年目の利用者みなさんの生活が安定するような支援に重点を置いてきました。特に今年に入って新しい利用者自身が沙羅の家での過ごし方に慣れ、少しずつ自分たちのリズムで生活ができるようになってきたと感じています。1年経った状況に個人差はありますが、利用者さんにとって、グループホームへの入居は生活環境が激変する事であり、ストレスも多く、慣れるのに大変な事であると、改めて感じました。

沙羅の家は夏に8年目、沙羅の家向原は3年目に入ります。まだまだ課題はありますが利用者みなさんがこれからも安心して生活できる場所となるように一歩ずつ努力してまいります。



ヨガに挑戦



体重測定



体重測定結果！



遊んでいます

## 「沙羅の家 大岡山」地鎮祭

今年の桜は、冬が長かった割には早く咲きました。桜が咲き始めた3月21日に、地鎮祭がおこなわれました。工事は9月に竣工して、11月から入居を開始する予定です。

グループホーム「沙羅の家 大岡山」は、区有地に知的障害者グループホームを整備するという目黒区の計画に応募して、もえぎの会が事業者として選ばれて建築するものであります。地域で生活するというもえぎの会の理念に基づき、障害者が親なき後まで人生を全うするために、地域の皆様により理解していただくような活動をしております。



建築段階から、運営段階まで、地域の皆様にはいろいろお世話になりますが、末長くお付き合いしていただきますように改めてお願いいたします。



### 編集後記

寒い冬が終わり、春がきました。  
また気持ちを新たに、一歩ずつ進んでいけたらと思います。

今年度も、どうぞよろしくお願いいたします。

(岡田)

発行：社会福祉法人もえぎの会

住所：目黒区目黒本町2-7-3

(法人本部)電話：03-5724-7153

e-mail : shiinomisha@abeam.ocn.ne.jp

http://www.moeginokai.jp/



しいの会社